

十嵐隆夫, 丸山明夫, 岡田敏夫, 河合幸一郎, 荒川 良, 熊谷 朗, 佐々 学: ユスリカ喘息に関する研究 (VI) 室内及び室外空中オオユスリカ抗原量の季節的変動. 第37回日本アレルギー学会総会, 東京, 1987, 10.

◆ その他

- 1) 上村 清, 荒川 良: イエバエに対する JH 様化合物 S-31183 の実地散布試験 (1986年度). 緒方一喜編, S-31183 (0.5% 粒剤) の効力試験成績集, 1, 38-44, 1987.
- 2) 上村 清, 荒川 良: アカイエカ, コガタイエカに対する JH 様化合物 S-31183 の実地散布試験 (1986年度). 緒方一喜編, S-31183 (0.5% 粒剤) の効力試験成績集, 1, 53-64, 1987.
- 3) 上村 清, 荒川 良: JH 様化合物 S-31183 のアカイエカ, コガタイエカに対する実地散布試験. 衛生動物, 38, 133, 1987.
- 4) 荒川 良, 上村 清, 渡辺 護, 倉橋 弘, 河合潜二: 中部山岳国立公園立山で多発する 2 種クロバエの山麓部における生活. 衛生動物, 38, 137, 1987.
- 5) 荒川 良, 上村 清, 渡辺 護, 倉橋 弘, 河合潜二: 中部山岳国立公園立山で多発するクロバエ類の山麓部における生活. 衛生動物, 38, 154, 1987.
- 6) 上村 清, 高須俊明: カラチ地方における蚊と脳炎に関する疫学調査. 日本熱帯医誌, 14, 170-171, 1987.
- 7) Kamimura K. and Takasu T.: An epidemiological survey of mosquitos and encephalitides in Karachi, Pakistan. Jap. J. T. M. H., 14, 212-213, 1987.
- 8) エイズ注目 カリニ肺炎. 北日本新聞健康欄, 2月25日号, 1987.

## 細菌学・免疫学

教授	小	西	健	一
助教授	山	岸	高	由
助手	坂	本	憲	市
助手	河	合	幸	一
助手	鈴	木	修	一
文部技官	井	上	裕	美
			子	

◆ 原 著

- 1) 河合幸一郎, 高橋正雄: 太田川におけるユスリカ科幼虫の分布について. 陸水学雑誌, 47: 307-314, 1986.
- 2) Sasa M. and Kawai K.: Studies on Chironomid Midges of Lake Biwa (Diptera, Chironomidae). Lake Biwa Study Monographs, 3: 1-119, 1987.
- 3) Sasa M. and Kawai K.: Studies on the chironomid midges of the Stream Itachigawa, Toyama. Bulletin of the Toyama Science Museum, 10: 25-72, 1987.
- 4) Yamagishi T., Gyobu Y., Sakamoto K., Ishizaka S., Saito K., Morinaga S., Katsuda S., Umei T. and Konishi K.: Response of Ligated Rabbit Ileal Loop to *Clostridium perfringens* Type C Strains and Their Toxic Filtrates. Microbiol. Immunol., 31: 859-868, 1987.
- 5) 水島 豊, 平田 仁, 坂本憲市, 佐藤雅樹, 森蔭俊彦, 丸山宗治, 佐々木孝逸, 矢野三郎: interferon  $\alpha$  A/D の免疫生物学的作用—OK-432との対比において—. 癌と化学療法 14: 2710-2715, 1987.
- 6) 角田美鈴, 大門良男, 松田正毅, 山岸高由, 小西健一: ブドウ球菌選択分離培地の検討. 衛生検査, 36: 1750-1752, 1987.
- 7) Yamagishi T. and Konishi K.: Some Characteristics of an Unnamed Vibrio Isolated from cholecystitis. Advances in Research on Cholera and Related Diarrheas, 6: (in press), 1987.

◆ 学会報告

- 1) 坂本憲市, 森永信一, 小西健一: 腸内細菌の抗腫瘍活性に関する研究 第9報—*Eubacterium lentum* (TYH-11) の腫瘍転移に及ぼす効果についてその2—. 第60回日本細菌学会総会, 1987, 3, 東京.
- 2) 坂本憲市, 森永信一, 小西健一, 越村三郎: *Eubacterium lentum* (TYH-11) の腫瘍転移に及ぼす影響について. 第46回日本癌学会総会, 1987,

9, 東京.

- 3) 水島 豊, 平田 仁, 森蔭俊彦, 坂本憲市, 矢野三郎: IFN  $\alpha$  A/D と OK-432併用による Met-h-A 腹水腫瘍に対する相対的効果について. 第46回日本癌学会総会, 1987, 9, 東京.
- 4) 村上巧啓, 松野正知, 佐伯陽子, 足立雄一, 五十嵐隆夫, 岡田敏夫, 河合幸一郎, 荒川 良, 熊谷 朗, 佐々 学: ユスリカ喘息に関する研究 (VI)室内および室外空中オオユスリカ抗原量の季節的変動. 第37回日本アレルギー学会総会, 1987, 10, 東京.
- 5) 河合幸一郎, 坂本憲市, 小西健一: ユスリカアレルギーに関する基礎的研究 (VI) 成虫の主要アレルギー及び種間交差反応性の検討, 第37回日本アレルギー学会総会, 1987, 10, 東京.
- 6) 柳ヶ瀬康夫, 青山和枝, 庄司 宏, 小西健一: ビブリオ OTAKE 株の病原性に関する研究. 第20回腸炎ビブリオ・シンポジウム, 1987, 10, 熊本.
- 7) 山岸高由, 久保義博, 小西健一: *C. perfringens* のエンテロトキシン産生性と MC lysate 感受性について. 第24回日本細菌学会中部支部総会, 1987, 10, 芦原 (福井).
- 8) 河合幸一郎, 林 光俊, 井上裕美子, 小西健一: ユスリカ・アレルギーに関する基礎的研究 (その7) 成虫アレルギーの解析及び種間交差反応性の検討. 第24回日本細菌学会中部支部総会, 1987, 10, 芦原 (福井).
- 9) 坂本憲市, 森永信一, モハメド・ハッタ, 小西健一: 腸内細菌の抗腫瘍活性に関する研究第10報 - *Eubacterium lentum* (TYH-11) の腫瘍転移に及ぼす効果について (その3) -. 第24回日本細菌学会中部支部総会, 1987, 10, 芦原 (福井).
- 10) 森永信一, 坂本憲市, 小西健一: 腸内細菌の抗腫瘍活性に関する研究第11報 - *Eubacterium lentum* (TYH-11) の抗腫瘍活性機序の検討 (その3) -. 第24回日本細菌学会中部支部総会, 1987, 10, 芦原 (福井).
- 11) 坂本憲市, 森永信一, 小西健一: Lewis lung carcinoma (LLC) の肺転移に及ぼす *Eubacterium lentum* (TYH-11) の影響について. 第2回富山腫瘍免疫研究会, 1987, 11, 富山.
- 12) 森蔭俊彦, 水島 豊, 佐々木孝逸, 矢野三郎, 坂本憲市, 小西健一: マウス腹水腫瘍に対する OK 432 と IFN 併用治療効果について. 第2回富山腫瘍免疫研究会, 1987, 11, 富山.

## ウ イ ル ス 学

教 授	庭 山 清八郎
助 教 授	落 合 宏
助 手	林 京 子
助 手	黒 川 昌 彦
文部技官	吉 田 与志博

### ◆ 原 著

- 1) Ochiai H., Shibata M., Sato S., Hayashi K. and Niwayama S.: Single radial complement fixation test using NP-containing plates: a simple and sensitive method for the detection of influenza infection. *J. Virol. Methods* **15**: 151-158, 1987.
- 2) Masuyama K., Ochiai H., Niwayama S., Tazawa K. and Fujimaki M.: Inhibition of experimental and spontaneous pulmonary metastasis of murine RCT (+) sarcoma by  $\beta$ -cyclodextrinbenzaldehyde. *Jpn. J. Cancer Res. (Gann)*. **78**: 705-711, 1987.

### ◆ 学 会 報 告

- 1) 落合 宏, 黒川昌彦, 庭山清八郎: マウスマクロファージ由来 P388 D 1 細胞でのインフルエンザウィルスの増殖. インフルエンザ研究者交流会, 第2回シンポジウム. 1987, 3, 熱海.
- 2) 増山喜一, 笠木徳三, 鈴木康将, 斉藤光和, 山下 巖, 石沢 伸, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 松井寿夫, 落合 宏, 庭山清八郎: OK-432中鎖脂肪 (MCT) エマルジョン経口投与によるマウス人工肺転移抑制効果. 第87回日本外科学会, 1987, 4, 東京.
- 3) 名古屋輔, 窪田靖夫, 林 京子, 落合 宏, 庭山清八郎: ハイブリダイゼーションによる HSV-1 DNA の検出. 第91回日本眼科学会総会, 1987, 5, 京都.
- 4) 日比野康英, 浅野 哲, 黒川昌彦, 菅野延彦: ラット肝高度反復配列 DNA と細胞核 Scaffold (足場)蛋白質について. 日本生化学北陸支部会第5回年次大会, 1987, 5, 富山.
- 5) Nishino H., Ochiai H., Momose Y., Araya A. and Ono T.: Ganglioside facilitates survival and maintenance of calcium current in cultured rat chromaffin cells. The 2nd World Congress of Neuroscience (IBRO), 1987, 8, Budapest.
- 6) Ochiai H., Kurokawa M., Hayashi K. and Niwayama S.: Antibody-mediated replication of influenza NWS virus in a macrophage-like cell line, P 388 D 1. The 7th International Congress of